

報道関係者各位

2023年3月17日
REVISIO株式会社

WBC準々決勝「日本 対 イタリア」 視聴者がくぎづけになったシーンは？

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンへの「注視」を測るREVISIO株式会社（旧TVISION INSIGHTS、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷康士、以下REVISIO）は、3月16日にテレビ朝日系列で放送されたWBCの日本対イタリアの試合について、どのシーンが一番視られていたのか毎分の注目度データを使って、分析致しました。（注目度が高いとは、テレビの前の視聴者がくぎづけになったことを表します）

WBC準々決勝「日本 対 イタリア」
視聴者がくぎづけになったシーンは？



REVISIO



負けたら終わりのWBC準々決勝が、2023年3月16日に、東京ドームで開催されました。混戦のA組を勝ち抜いたイタリアに待ジャパンは、見事9対3で勝利を収めました。どのシーンも目が離せませんでした。実際テレビの前の人にはどのシーンにくぎづけになっていたのでしょうか？

2023年3月16日にテレビ朝日系列で放送されたWBCの日本対イタリアの試合がどのように見られていたかを、テレビ朝日 関東の地上波放送かつ個人全体を対象に集計しました。結果として、注目度が高かった1位から3位のシーンは、下記のとおりとなりました。（注目度が高いとは、テレビの前の視聴者がくぎづけになったことを表します）

一番注目されたのは岡本のホームラン！

日付：2023年3月16日（木）放送
属性：個人全体



●1番注目されたシーン 20時09分 3回裏 岡本和真選手の打席 注目度：75.4%

3回裏2アウト1、2塁、岡本和真選手の打席でした。2ボール2ストライクで迎えた5球目はファール。そして次の6球目を見事に打ち返し打球はレフトスタンドに。3ランホームランとなり、観客も実況も大盛り上がりとなりました。その後ランナーが戻りスタンドのメンバーとハイタッチをし、リプレイが放送されるまで注目されました。

●2番目に注目されたシーン 21時49分 7回裏 吉田正尚選手の打席 注目度：74.4%

7回裏ノーアウトランナーなし、吉田正尚選手の打席が回ってきたところでした。2ボール2ストライクで迎えた5球目を打ち返し、打球は大きく飛びライトスタンドへのホームランとなりました。日本が8対2とその差を広げ、観客も実況も大盛り上がりしました。吉田選手がスタンドに戻るとリプレイが放送され、その後の村上宗隆選手の打席あたりまで注目されました。

●3番目に注目されたシーン 21時15分 5回裏 村上宗隆から岡本和真の打席 73.3%

5回裏ノーアウト1、2塁で迎えた村上選手がセンターオーバーのヒットを打ち、そのリプレイ映像から注目が集まりました。ランナーは2、3塁。次の打者、岡本選手が初球を右中間フェンスに当てると、2点タイムリーとなりました。村上選手が復活を感じさせる打球を放ち、続いて岡本選手がテンポよく初球を決め、連続タイムリーとなりました。

■分析データの概要

対象日時：2023年3月16日（木） 18時30分から22時44分
 放送局：テレビ朝日
 属性：個人全体
 地域：関東エリア 2,000世帯
 指標：※注目度

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



【本件に関する問い合わせ先】

■REVISIO株式会社 <https://revisio.co.jp/>

広報担当 佐野、峯島

東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階

E-mail info@revisio.com Tel (担当直通) 050-5468-2785

【REVISIO株式会社について】

REVISIO株式会社（2022年10月にTVISION INSIGHTS株式会社から社名変更）は、人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。ご家庭のテレビに、REVISIOが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、ちゃんと見ているか」というREVISIO独自の注視データを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。

現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組の視聴データ、ならびにコネクテッドTVの注視データを提供しています。